

精密部品の試作に関する 技術ノウハウを提供

アクセプト株式会社
2012年

目次

- 会社紹介
- 業務内容
- アクセプトが提供する試作とは

会社紹介

- 創業：2006年4月12日
- 事業内容：組立、検査、
板・線バネ製造販売、製品開発



- 資本金：10,000,000円
- 従業員数：21名

業務内容

- アクセプトでは、
精密部品を試作・設計・製造・検査に至るまで
一貫したトータルサービスを提供しております。

A Assembly 組立	C Certificate 出荷保証 検査成績	S Spring Stamping 線ばね プレス	E Engineer 技術 開発 試作	PT Product Timely 量産対応 短納期対応
----------------------------	---	--	--	---

取り扱い品目

- 精密線・板バネ



取り扱い品目

- 精密板金・金属、樹脂の切削、挽き物



取り扱い品目

- 小ロットの精密加工全般

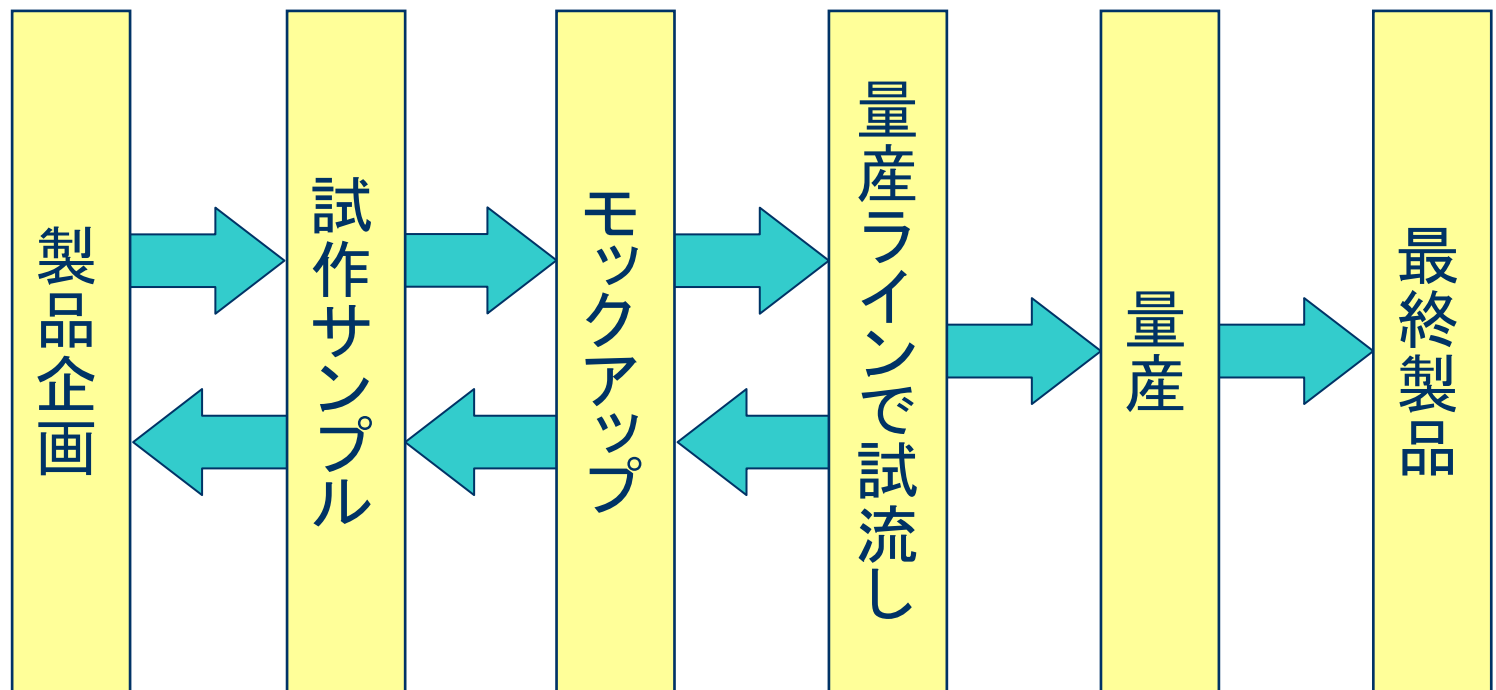


アクセプトが提供する試作とは

- アクセプトは量産で求められる精度と同等なサンプルを提供します
- アクセプトの試作は量産の前に問題点を抽出して、要求性能を守り、加工可能な形状を提案します
- アクセプトの試作は以下を目指します
 - ①納期最短
 - ②量産時の合格ライン品質
 - ③適正な価格

最終製品が作られるまでの流れ

- 一般的な流れ



品質を左右する試作サンプル

- 規格量産と同等の品質、量産時に不良になりにくい形状、寸法、精度を決めていくために大事なプロセスであります。
- 試作サンプルでQCDが完成レベルに仕上がれば、問題なく量産に入ることができます。
- 結果的には、いきなり量産を進めるより品質の安定した製品を早く、安く作りこむことができます。

試作サンプルの重要ポイント

- 実際に試作サンプルを作るときには、設計者のイメージしている品質、特性を具現化し、試作サンプルの段階で、量産へ移行することができるレベルのものを作り出すことが重要となります。
- 図面指示寸法のだ真ん中ということではなく、量産時に合格になりうる品質レベルということです。

量産時に影響する試作の品質

- 100%良品というものも作ることはできますが、これでうまく稼働することができるのは当然のことで、量産の時には必ずばらつきがあり、公差の上限-上限、上限-下限、下限-下限という組み合わせが存在するため、これを試作の段階で考察して寸法公差を決定する作業が必要になります。

アクセプトの蓄積した知識

- 我々は日本において30年前からこの試作サンプルを作ってきた経験があり、設計者、開発者の求めるものを試作サンプルを作る前の打ち合わせの時に、お互い共有するイメージでお話することができます。

ビジネスパートナーとして

- アクセプトが保有する知識・経験を活かし、お客様のお手伝いをすることができます。
- 量産品質の決定後、もちろん量産部品も手掛けていますが、この部分は御社の調達の方が、より良い会社を見つければ良いと思います。見つからない場合はお手伝い致します。新製品を開発される際に日本で培われた精度の高いモノづくりを試してみてください。

問い合わせ先

TEL : 04-2958-0037

FAX : 04-2958-3261

ホームページ : <http://www.acsept.co.jp/>

E-Mail : ito@acsept.co.jp